



大学キャンパスの成立

教師や学生などが集い議論する場から、教場カレッジ、都市の中のキャンパスへと発展

- オックスフォード大学：1096年創立
- カレッジ（学寮）の発生
- 宗教と教育
- 閉じた公的空間としての中庭（クアドラングル）



- ヴァージニア大学：1819年創立
- キャンパスとしての視覚的まとまりと秩序を表現
- 教育における公共性の表現
- 人と人を結びつける空間づくり



写真出典：http://www.bc.edu/bc_org/avp/cas/fnart/fa267/Jeffersn.html



Ambrogio Lorenzetti: Effetti del Buon Governo in città, 1338, Wikimedia Commons



- ボローニャ大学：1088年創立
- Universitas（学生の自治的な組合）が教員を雇用
- 欧州法学研究の中心地
- 大学固有の建物を持たず、住居や貸部屋、広場・街路などの都市空間を使って授業を実施

知の拠点・デザインの
中心としての
墨田区と千葉大学の
新しい教育研究環境



千葉大学
デザイン・リサーチ・
インスティテュート

Introduction to
**CHIBA UNIVERSITY
DESIGN RESEARCH INSTITUTE**
in TOKYO

未来の生活をシミュレートする デザイン教育研究拠点

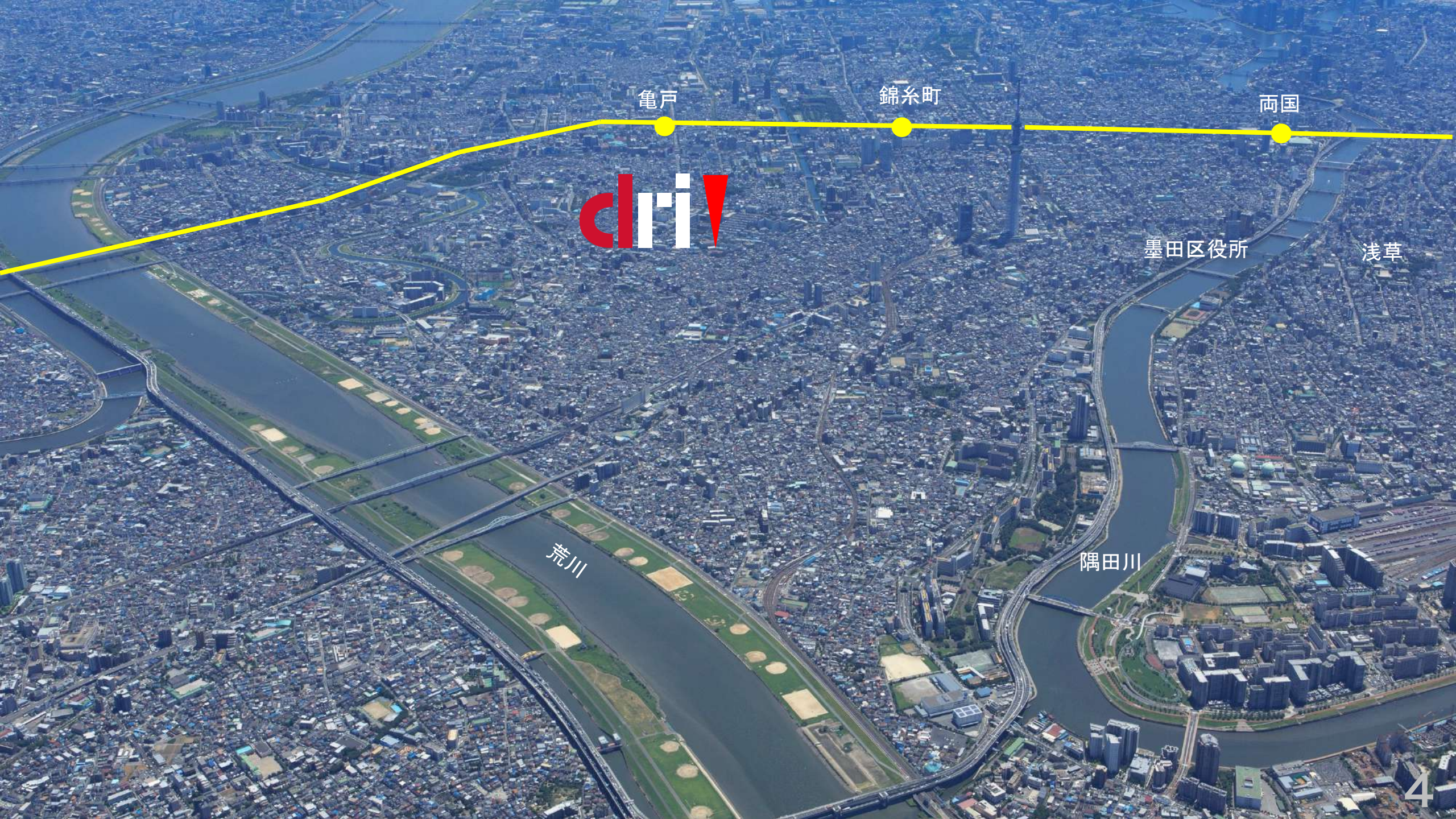
- ・ 築35年の旧すみだ中小企業センターを改修
- ・ 全館（9,447m²）を墨田区から賃借して利用

2021.04.01 開設

北側全景



旧体育館をデザイン建築アトリエに改修



亀戸

錦糸町

両国

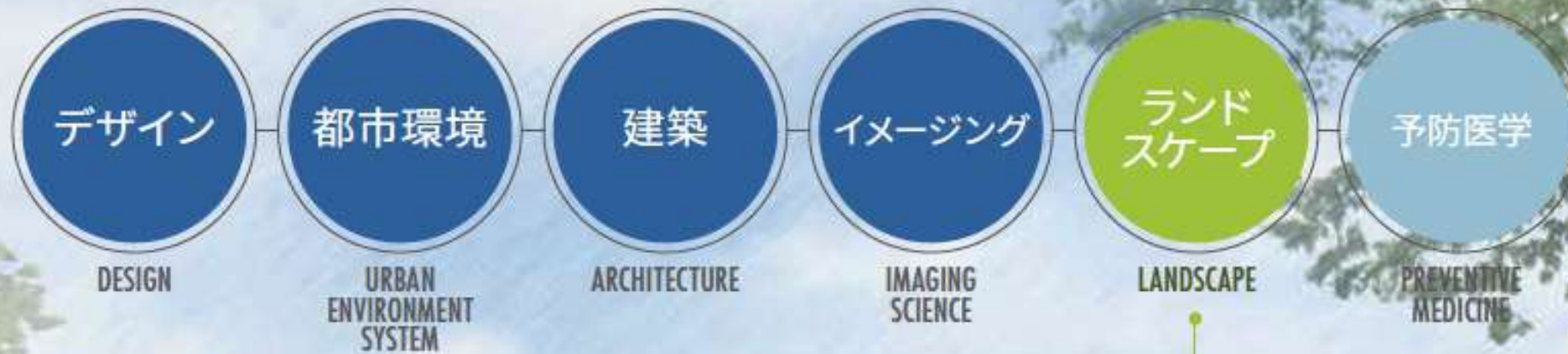
dri

墨田区役所

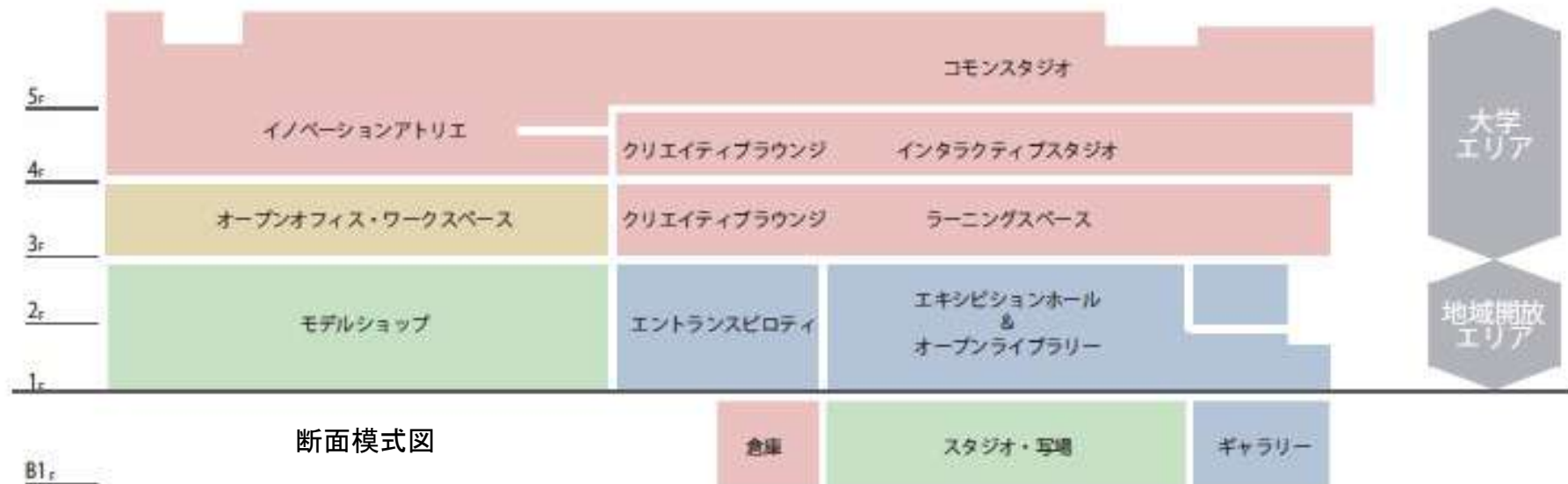
浅草

荒川

隅田川

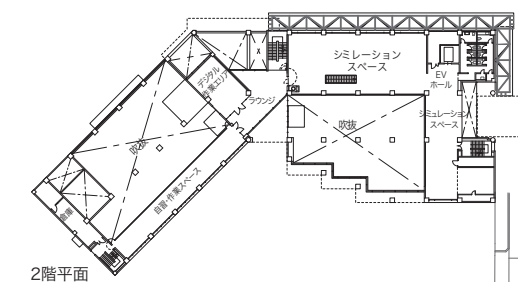
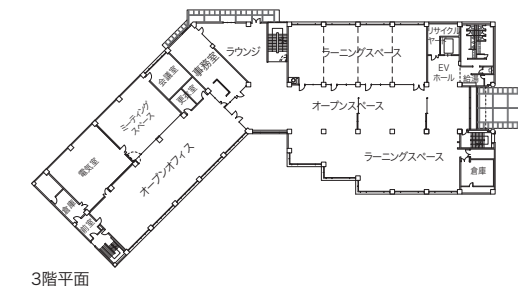
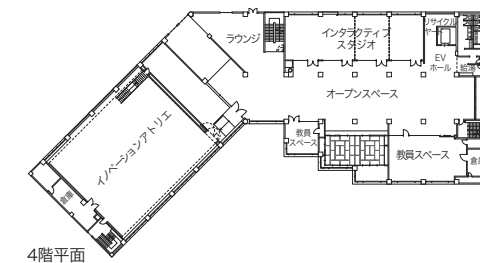
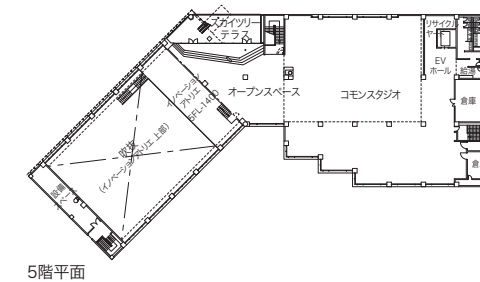
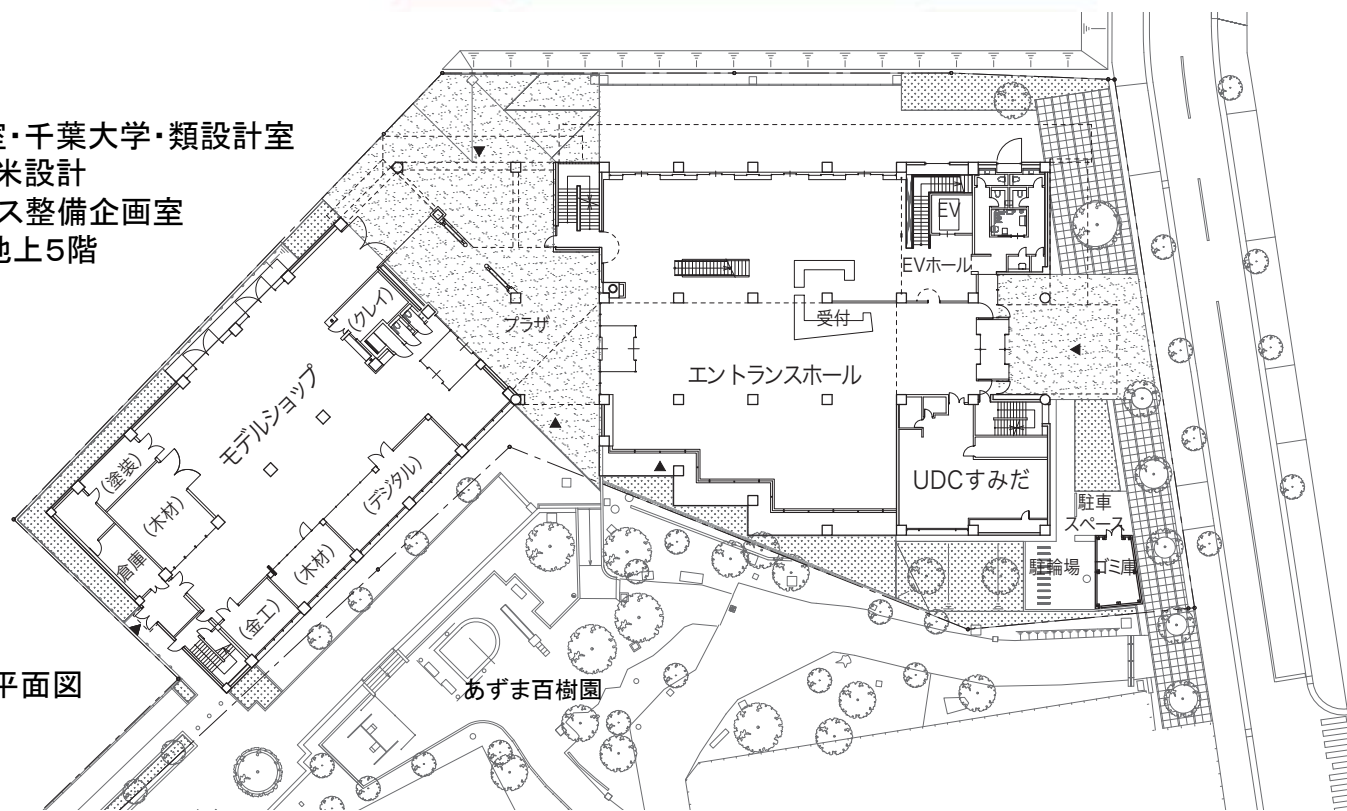


園芸学研究科
ランドスケープ学コース

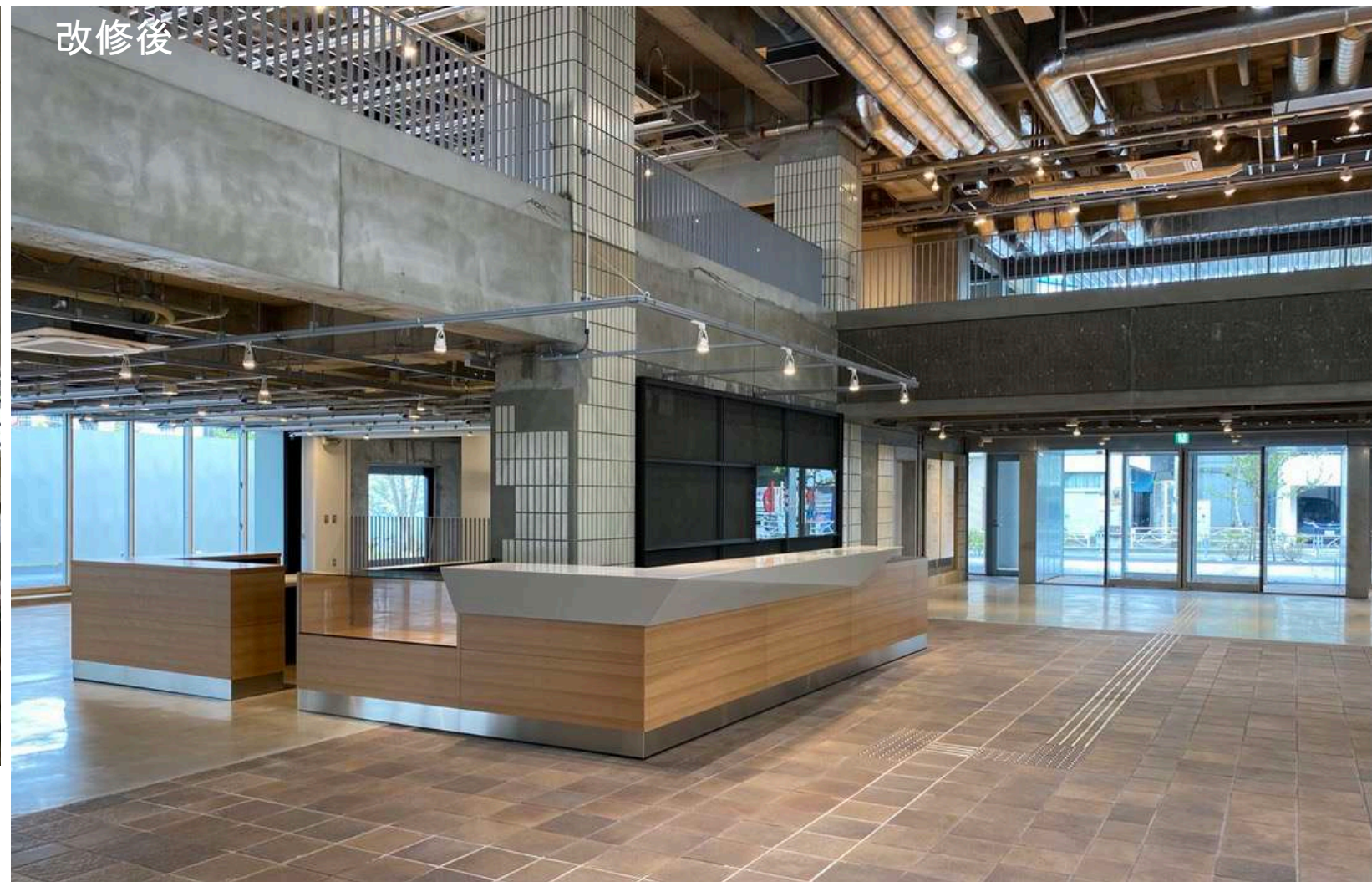


建主: 墨田区
 基本構想: 墨田区企画経営室・千葉大学・類設計室
 設計監理: 墨田区営繕課・久米設計
 監修: 千葉大学キャンパス整備企画室
 構造規模: SRC造 地下1階地上5階
 建築面積: 2,189.04㎡
 延床面積: 9,447.77㎡

1階平面図



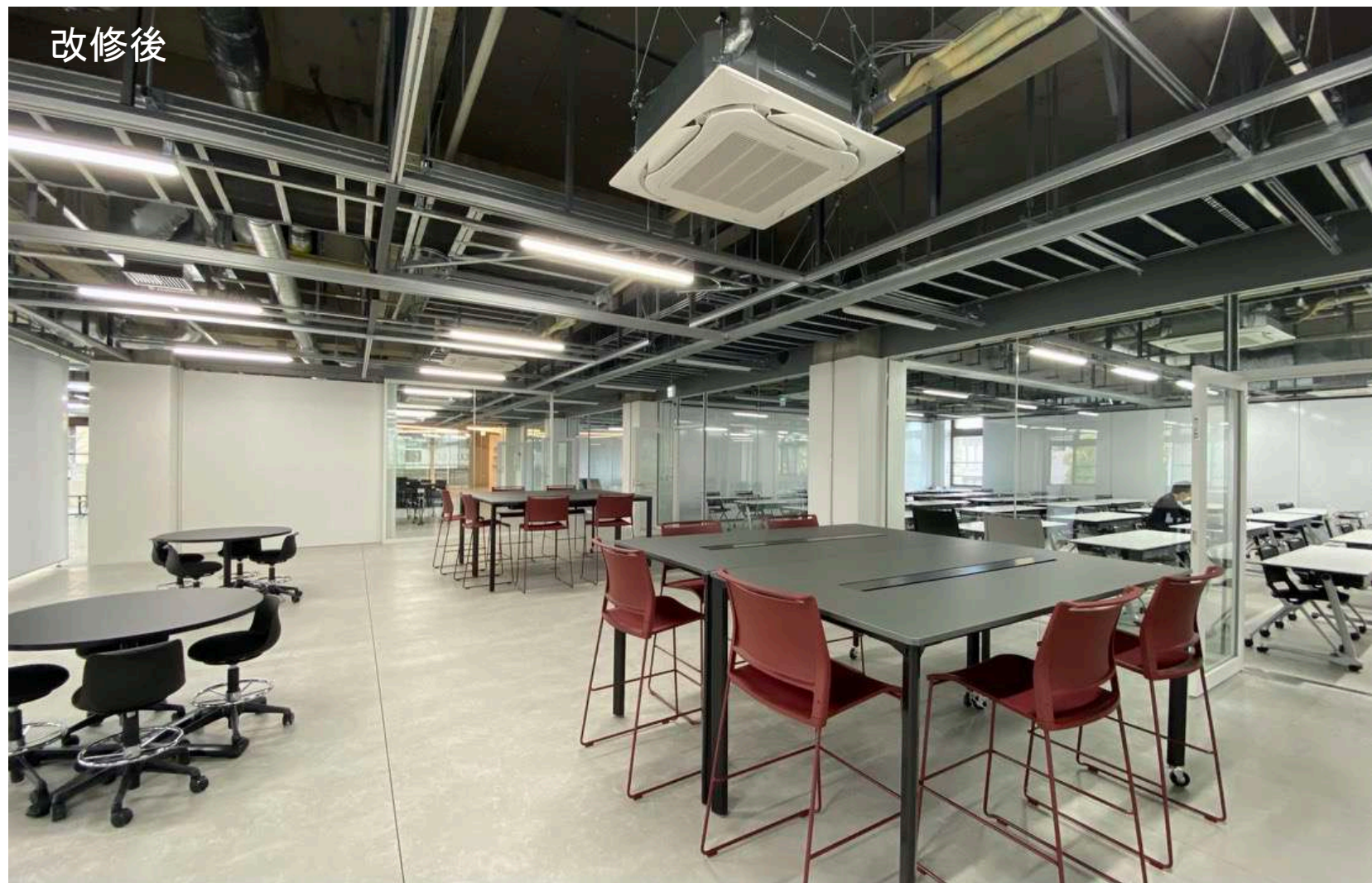
1階 エキシビションホール



1階 モデルショップ



3階 ラーニングスペース





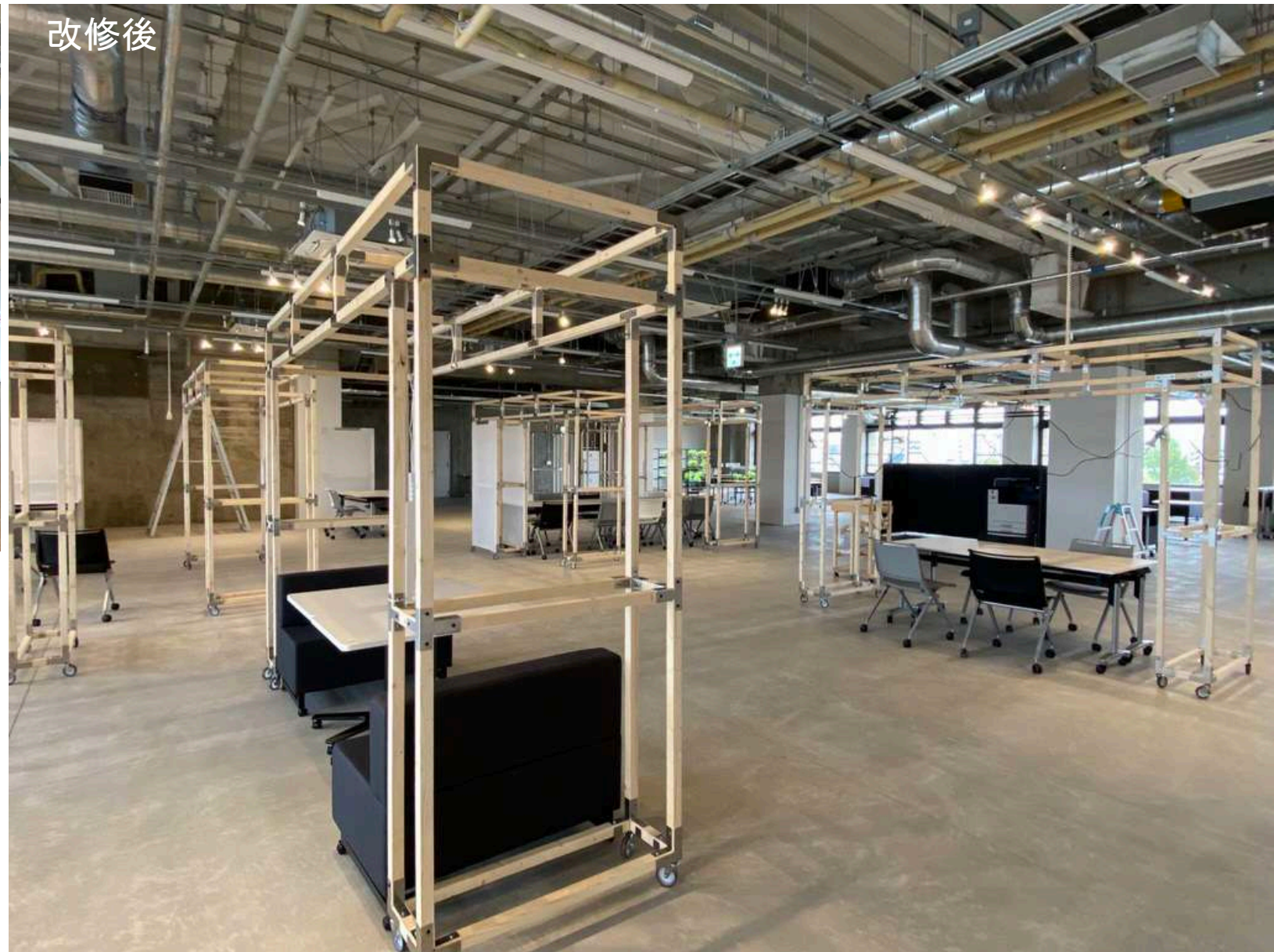
改修前



4階 イノベーションアトリエ

改修後

5階 コモンスタジオ



曳舟中学校

1999年3月 統合のため閉校

西吾妻小学校

1999年3月 統合のため閉校

西吾妻小学校、第2吾妻小学校、文花小学校
の3校が併合して、押上小学校開設

京成亀戸線

旧曳舟中学校

2008年～ 大学誘致計画開始

旧西吾妻小学校

すみだ中小企業センター

1986年竣工 2017年3月閉館
2017年3月 区・千葉大連携協定

あずま百樹園

墨田区立文花中学校

テニスコート

墨田区立文花中学校 1999年4月 開校

曳舟中学校と吾妻第3中学校が併合





キャンパスコモン整備計画 2024年完了予定



墨田区と千葉大学が、新キャンパス構想に向けて包括連携協定を結びました

掲載日：2017/03/22



写真左から、坂下墨田区議会議長、山本墨田区長、徳久千葉大学長

CUSDA (CHIBA UNIVERSITY SCHOOL OF DESIGN AND ARCHITECTURE)

多様化するデザイン・建築対象をシミュレーションできるスタジオ

演習授業を倍増させ多様化するデザイン・建築の実学に対応

演習
倍増
計画

千葉大学デザイン建築スクール

CUSDA

5年一貫学部＋修士プログラム



演習の倍増を現状教員定員で実現
するためのプロフェッショナル・クロ
ス・アポイントメント・システム

5年一貫学部＋修士で200単位(300ECTS)が修了要件



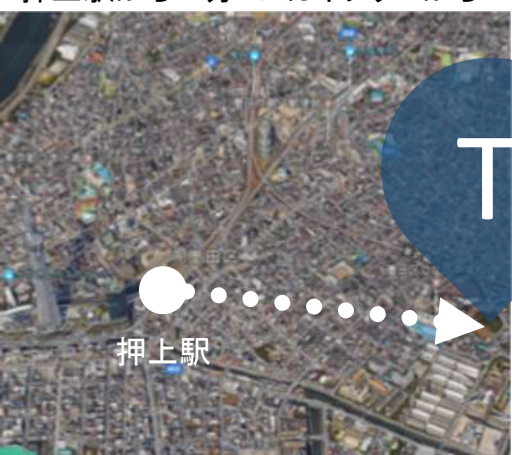
研究型授業やインターンシップを実現する

Always
Aim Higher!



4つのダブルハイト(吹き抜け)を持つ TOKYO TRADITIONAL TOWN STUDIO/ATELIER

押上駅から12分 スカイツリーから15分



ベーシック・アトリエ
木造建築 簡易構造体

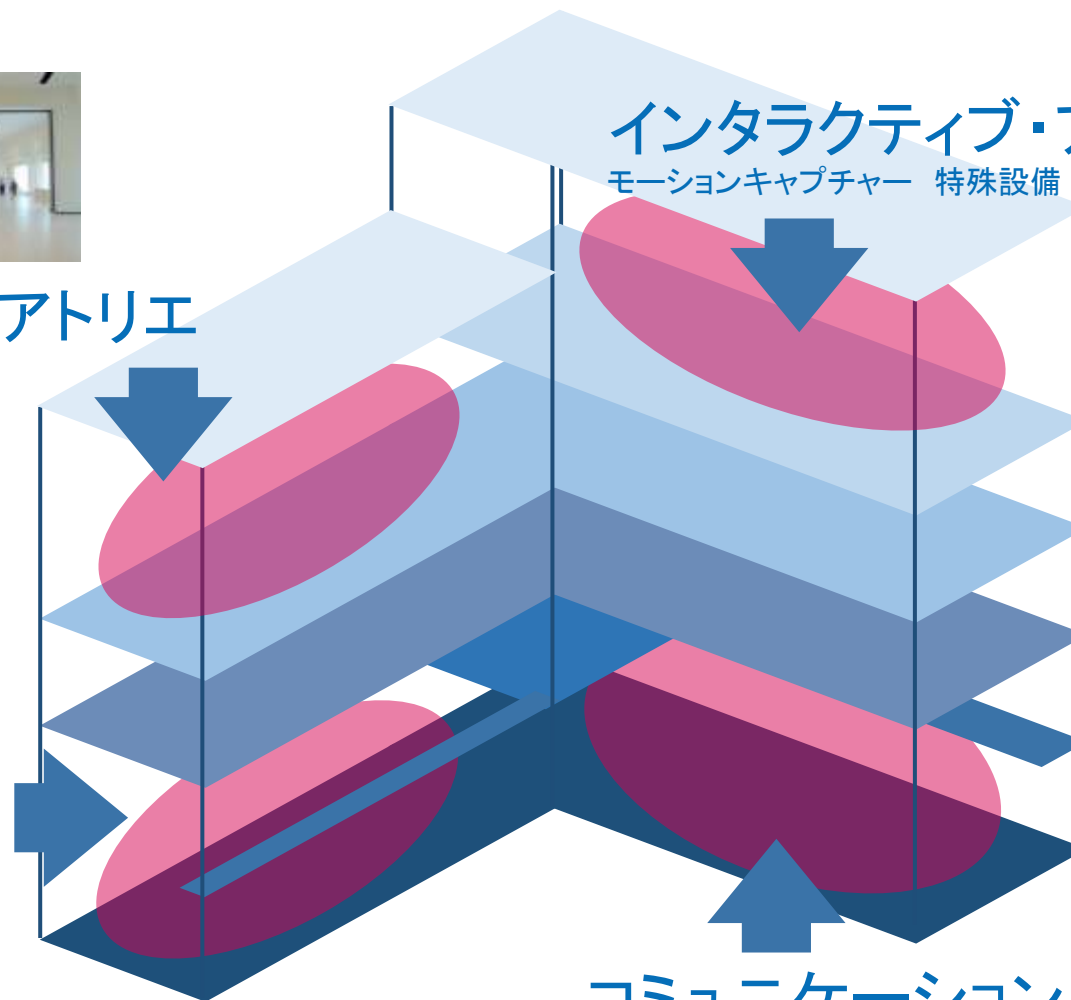
インタラクティブ・アトリエ
モーションキャプチャー 特殊設備 病院



地上5F建て約9,000平米

インダストリアル・デザイン・スタジオ

自動車クレイモデル
インダストリアルモデル



コミュニケーション・スタジオ

デジタルサイネージ プロジェクションマッピング 特殊設備 美術館





原寸大のモデルを製作しシミュレートする デザイン→フルサイズ的車 デジタルサイネージ展示計画 建築→簡易住宅 病院等特殊な設備のシミュレーション

従来からのデザイン対象

自動車クレイモデル
木造建築 簡易構造体
サインシステム
ショーウィンドウ



新しいデザイン対象

デジタルサイネージ
モーションキャプチャー
プロジェクションマッピング
特殊設備 病院 美術館

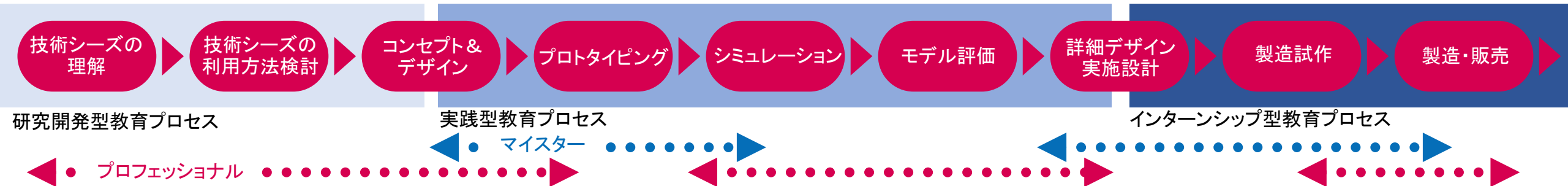




メトロポリタン・イノベーション・スクールの実現 研究課題持ち込み型プロジェクト プロフェッショナルとマイスター（職人）のコラボレーション

研究課題持ち込み型プロジェクトの実用化までのプロセス

1 研究開発型教育プロセス 2 実践型教育プロセス 3 インターンシップ型教育プロセス の3つのステージで研究と教育を推進



千葉大学の有する技術シーズを企業とともに実装展開する
千葉大学の有する技術シーズを実践型教育でシミュレーションし企業が製造・販売する
企業の有する技術シーズを千葉大学が実践型教育で利用法を検討し展開する

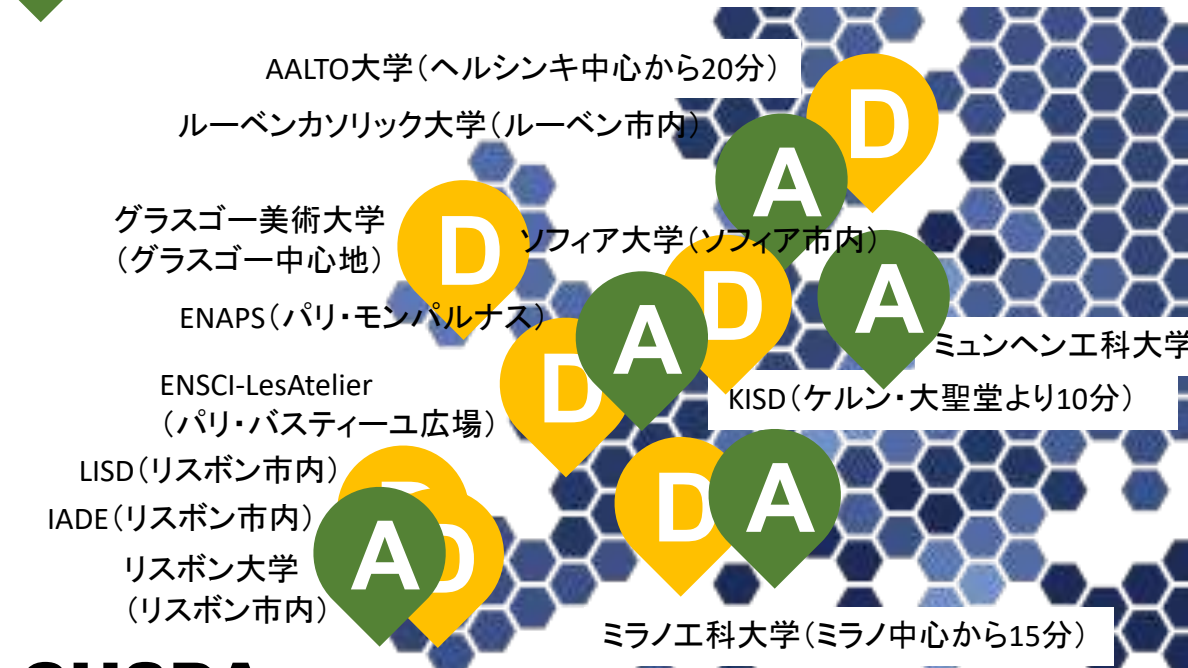




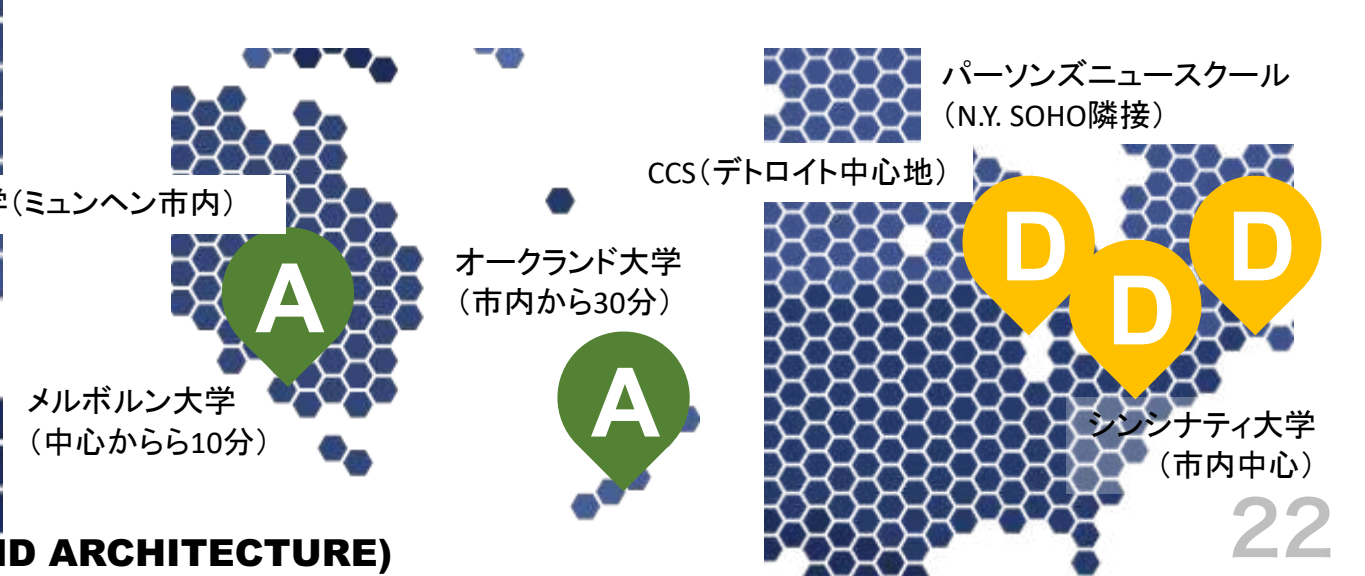
世界のデザイン・建築大学と共同研究・共同教育を実施 デザイン CODEによる世界10大学との連携実施 建築 AUSMIPによる世界11大学との連携実施

CODE=Intercontinental Design Education / AUSMIP=Architecture and Urbanism Student Mobility International Program

- D** CODE 大陸間デザイン教育 2010年より実施 派遣160 受入200以上 世界展開力最終S評価
- A** AUSMIP 建築都市国際プログラム 2002年より実施 派遣250 受入200以上 15年継続派遣



世界のデザイン・建築スクールとそのロケーション

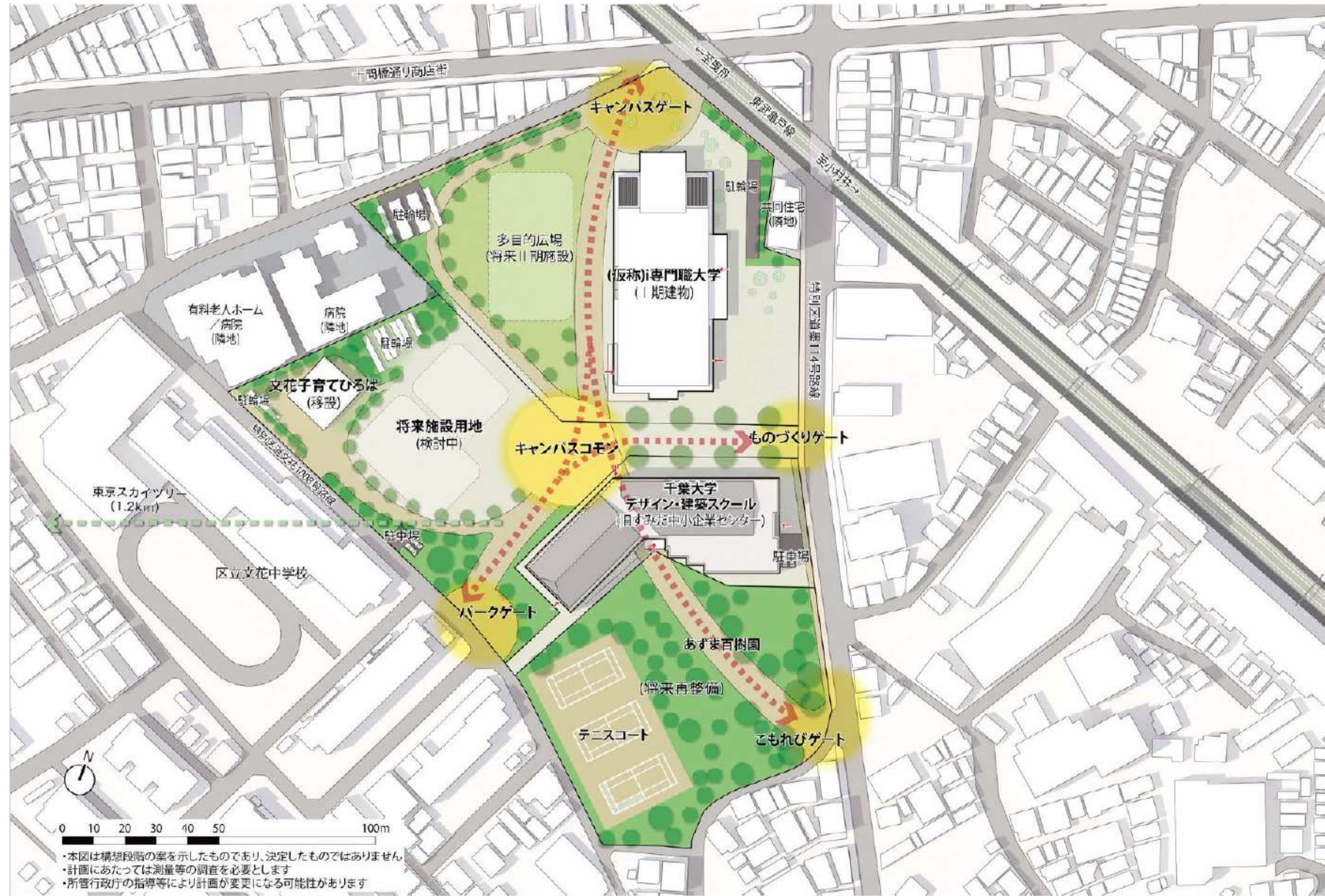


地域イノベーション拠点としてのキャンパス計画キーワード

1. 公共施設再編・リノベーションのモデルケース
2. 大学誘致ゾーンを公園と一体化したキャンパスコモン（広域避難場所を兼ねる）として整備
3. 公民学連携による地域活性化拠点
4. 多様な手法を活用した国立大学施設整備のモデルケース
5. デザイン建築教育の教材となる施設計画
6. グローカル教育・国際連携・地域連携・地域再生を同時に実現
7. アクティブラーニング・領域横断・コラボレーションを実現

環境整備基本構想

- 大学と地域の共創による整備
- 地域再生の拠点としての大学
- 都市の重要な緑地空間



建築雑誌 | JABS | vol.134 No.1726

2019.07

座談会1

都市における 大学キャンパスの 役割を再定義する ——墨田区と 千葉大学の試み

The New Role of the University Campus in an Urban
Environment: Through the Challenges Faced by
Sumida Ward and Chiba University

大学を誘致して、まちや教育、産業の活性化を図りたいという夢があったので、区民の念願がかないました



——山本

実際のものづくりが要求される墨田区は、実学のトライ・アンド・エラーをする場所として格好の地域です



——徳久

産学連携

academic-industrial partnerships

Liaison Office

大学地域連携

academic-regional partnerships

Platform

TLO

Technology Licensing Organization

実験室（ラボ）

COC

Center of Community

実証フィールド

市民と共に創るリビングラボ

公民学連携

public-private-academia partnerships

実証実験 社会実装 市民科学

墨田区が抱える課題

- **産業全般**
中小企業のまちであるが事業所数は減少 ・ 高齢化 ・ 後継者不足 ・ 創業支援など
商店街活性化施策 空き店舗が増えている
- **高齢化施策**
・ 健康づくり施策への対応 ・ がんによる死亡率が高いこと ・ 地域での支え手の育成
- **教育施策**
児童・生徒の不登校率の増加もある
学力向上を進めているが、ネグレクトなど家庭環境の課題
- **子育て支援**
学童クラブも含む待機児対策
- **老朽化した公共施設改修**
公共施設マネジメントを行っているが、様々な手法の検討のためのノウハウが少ない
- **新しい行政のしくみづくり**
AIを活用した行政窓口の検討
- **エリアマネジメントと観光施策の融合**
浅草とスカイツリーを結ぶ北十間川 舟運など水辺の活用

墨田区との共同研究課題例



1. 東京下町(墨田・江東エリア)とSDGs

- 大学・企業と連携した健康増進活動、生涯学習、職業教育、技術革新、実証実験
- Om地域海外ネットワーク

2. 地域のレジリエンス強化・木密地域・空き家活用

- Om地域
- 関東大震災・東京大空襲からの復興
- 再開発計画の評価
- 木密地域と空き家活用、商店街の活性化

3. 下町職人文化のイノベーション

- スミダ3M: Museum, Meister, Manufacturing shop
のてこ入れ
- すみだモダン、美しいデザインの追求

4. 地域のWell-being評価と向上手法の開発

- JST・OPERAプロジェクトと連動し墨田区で実証研究
- 自治体保有データの活用、ビッグデータAI解析

5. 水辺空間・水上交通の再生

- スカイツリーを起点した水上交通強化: 横十間川、北十間川など
- 国交省ミズベリング、江東区との連携

6. キャンパスを活用したデザイン・建築教育の実証実験

- 建物全体で未来の生活をシミュレートする
→体験型教育
- 原寸CADプロジェクションマッピング
→疑似体験教育
- 建設技術者スキルアップ教育
→クロスアポイント教員の派遣

7. 公民学連携拠点の設立

- アーバンデザインセンターすみだ設立
- 公: 墨田区、まちづくり公社など
- 民: Garage Sumida、東武鉄道、東京東信用金庫、商工会議所墨田支部など
- 学: 千葉大学、iU

2021.04.30 開設

ビジョン策定委員会

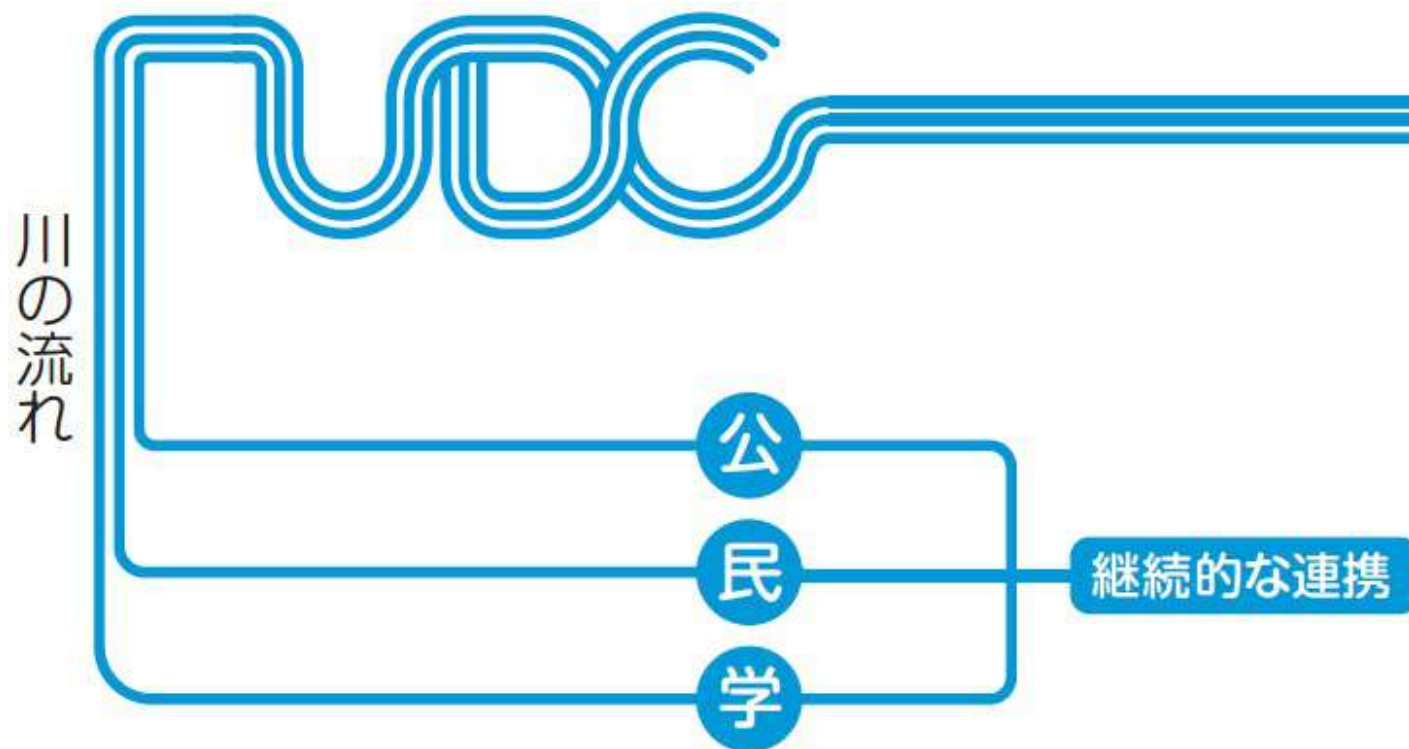
眺みつづける、変わらぬ意志で。
東京商工会議所

T O B U

UR

higashimura
東京東區南会館

一般社団法人
墨田まちづくり公社
ひといっしょなまちづくり

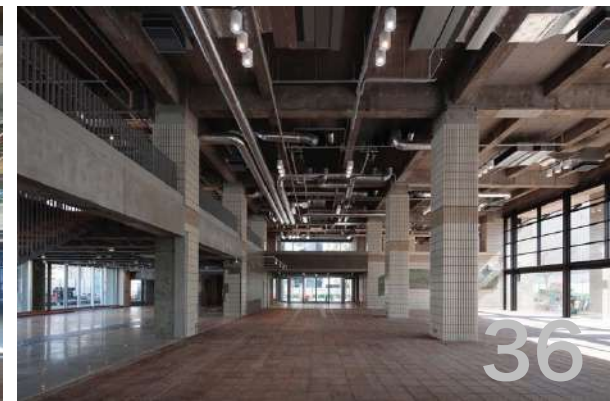
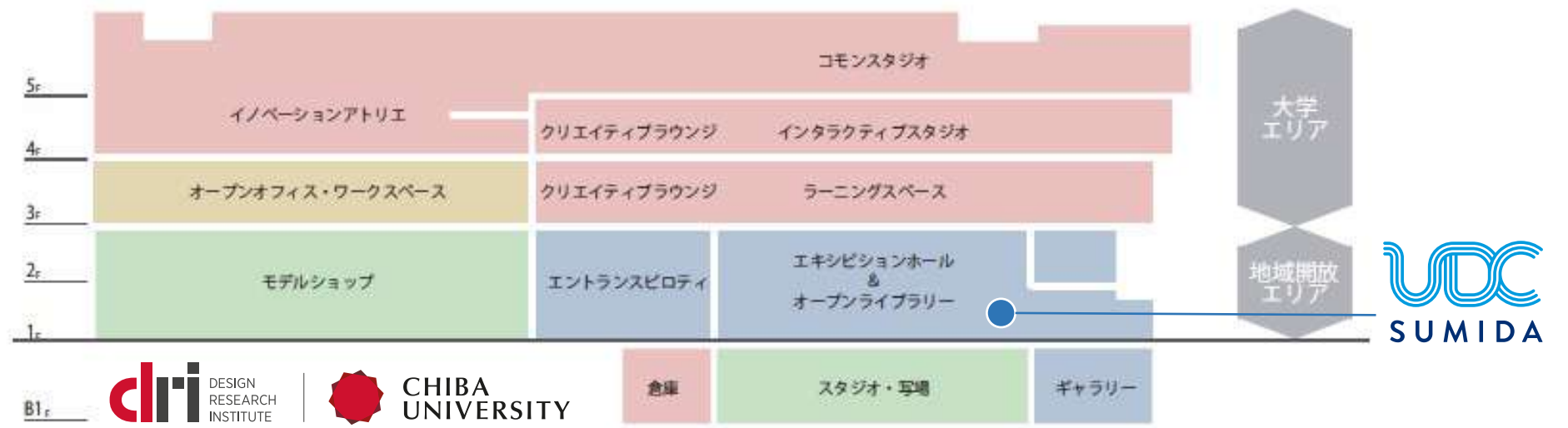


UDC SYNERGY

隅田川・荒川・旧中川・北十間川など 墨田区にある
川の流れと、公民学の連携を表現

UDCすみだ
の活動エリア





キャンパスのように
まちをつくり、

まちのように
キャンパスをつかう。

01

良質な都市空間をつくる

公共空間 デザインマネジメント

大学のキャンパスは、複数の学部や学科、様々な研究施設、学生の福利施設など、様々な機能や用途の空間が集約しています。大学が持つキャンパスづくりの発想やノウハウは、機能が多様化するまちの都市デザインに有効です。大学のあるまちづくりにふさわしい創造性にあふれた良質な都市空間の形成に向け、公共空間デザインに係る検討・助言、建築活動等に係る相談・協議、地域の合意形成支援、学習プログラム運営などに、総合的に取り組めます。

02

地域で学ぶ、地域も学ぶ

産業振興 人材育成

地域全体をキャンパスに見立て、地域の中で現実の地域・社会の課題に立脚した取り組みを行うことによって、学生の実践的な教育を行うことができます。地域と大学が共同で地域課題に取り組むこと、大学内に足りない機能は積極的にまちにある機能を活用することで、まち全体が生きた実験場（リビングラボ）となり、大学の研究環境以上の共創の場が生まれる可能性があります。また、地域活性化や地域住民の人材育成にも繋がります。

03

大学の知見や空間がまちと繋がる

産業振興 人材育成 公共空間

各大学が有する人的資源、学術的な蓄積、空間的資源を地域課題解決に活用することで、公民学連携による高度な共同研究の機会を生み、イノベーションを創出することが期待できます。また、公開講座を実施したり、緑豊かな屋外空間などを地域市民も活用できるようにすることで、大学の知見や空間がまちとつながり、地域の教育や暮らしの豊かさの実現に役立ちます。



官民の様々な人材が集積する**エリアプラットフォームの構築**やエリアの将来像を明確にした**未来ビジョンの策定**、ビジョンを実現するための**自立・自走型システムの構築**に向けた取組を総合的に支援し、多様な人材の集積や投資を惹きつける都市の魅力・国際競争力の強化を図る。

【令和2年度創設】

未来ビジョン策定とビジョン実現のための自立・自走型システムの構築への支援



※ 1：新規に取り組む「エリアプラットフォーム構築」と「未来ビジョン等策定」については、単年度あたり合計1,000万円を上限とする。（最大2年間 ただし、試行・実証実験を行いながら、新型コロナウイルス感染症拡大を契機としたビジョンを策定するものに限り、最大3年間に延長）

※ 2：1事業あたり1年間に限る。 ※ 3：「エリアプラットフォーム構築」及び「未来ビジョン等策定」における準備段階においてのみ、市区町村を補助対象とすることができる。

令和3年度「エリアリノベーション推進支援事業」の採択事業を決定しました

東京都では、特定のエリアにおける空き家等の集中的・連鎖的な活用、再生を推進する事業を実施しています。この事業は、エリアリノベーションを企画・調整し、推進しようとするまちづくりプロデューサーに区市町村を通じて支援するものです。

先月来、実施区市町村を募集したところ、3自治体から3地区の応募がありました。

この度、実現可能性、発展性等の観点から審査を行い、応募の3自治体3地区を採択しましたので、お知らせします。

1 採択事業

墨田区

■ 「アーバンデザインセンターすみだ活動促進事業」

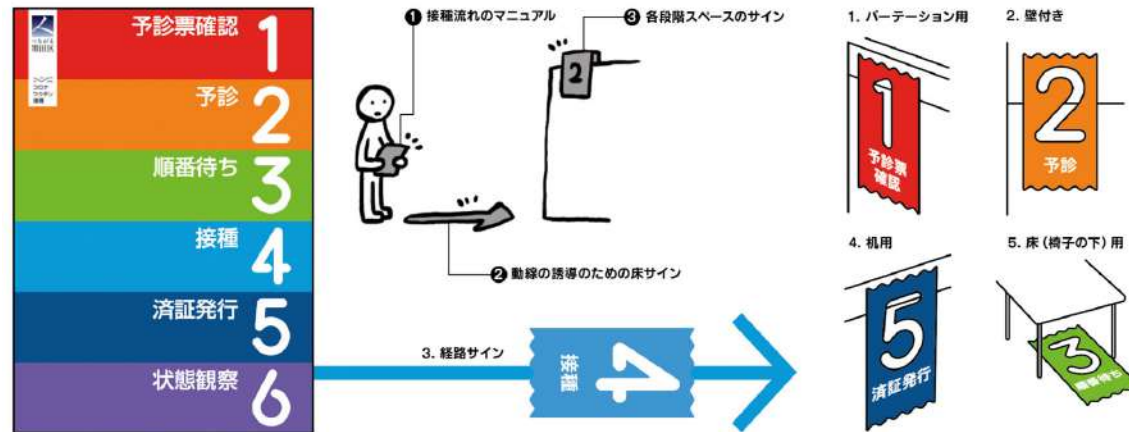
大学のあるまちづくりを事業推進する「墨田区文花・京島地区」をモデル地区とし、木造住宅密集地域や空き家等の課題を大学の知見を活かして解決を図ることで、防災強靱化、遊休資産の活用、都市空間の質の向上をテーマとしたエリアリノベーションを公民学連携により推進する。

出典：東京都HP <https://www.metro.tokyo.lg.jp/tosei/hodohappyo/press/2021/05/31/12.html>

コミュニケーションデザインの知見を取り入れた 新型コロナワクチン接種会場における誘導サインを作成

～密集・密接を生まない接種体制の構築～

墨田区では、新型コロナワクチン接種体制の構築に向け、接種会場の密集・密接を生まないための誘導サインを作成しました。サイン作成には、包括的連携に関する協定を締結する千葉大学の全面的な協力を得て、視覚伝達デザイン（ビジュアルコミュニケーションデザイン）に関する知見を活用しています。



墨田区との連携による新型コロナウイルス対応

①墨田キャンパスを接種会場として提供、学生による業務補助

<会場使用>

目的：墨田区個別接種会場（墨田中央病院）として使用。

期間：令和3年5月10日～令和3年9月30日（予定）

※10日1日以降は墨田区内ワクチン接種状況等による。

接種回数：約13,000回（令和3年8月31日時点）

<墨田キャンパスに通う学生による業務補助>

業務：接種会場内の案内・誘導、予診票の事前確認 等

期間：令和3年7月1日～令和3年9月30日（予定）



ワクチン会場の様子



予診票の事前確認

②密集を生まない会場、色・番号による誘導サインの作成

①全体プロセスによる理解、②床サインによる経路認識、③目的地を表すスペースサインにより構成。

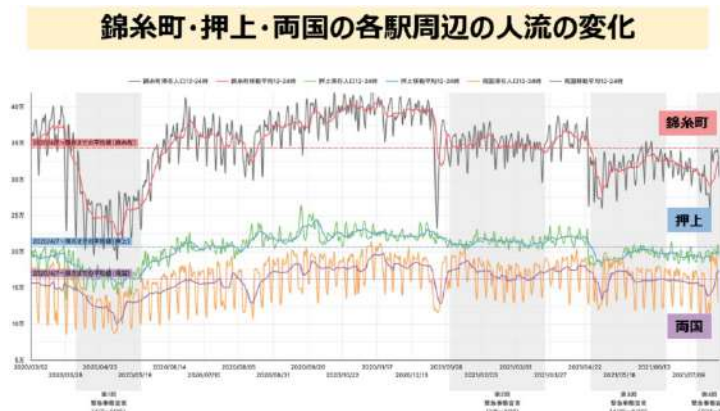
墨田キャンパス、区内集団接種会場（計8会場）、本学や他大学の職域接種会場等で使用。

※ Red Dot Design Award 受賞 (GOOD DESIGN AWARD 等 申請中)



③墨田区内の人流解析

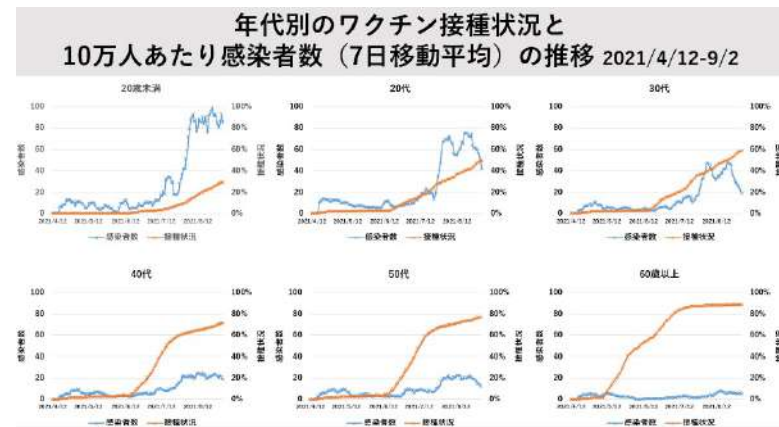
スマートフォンユーザー（KDDI）の位置情報データに基づき、墨田区主要繁華街における人流の変化を解析。（緊急事態宣言発出による人流減少） ※墨田区長メッセージ（R3.8.6）で区民へ報告。



④年代別のワクチン接種状況と感染者数の推移（調整中）

墨田区におけるワクチン接種状況と感染者数の推移を年代別に解析。（ワクチン接種の進展と感染者数減少との関連）

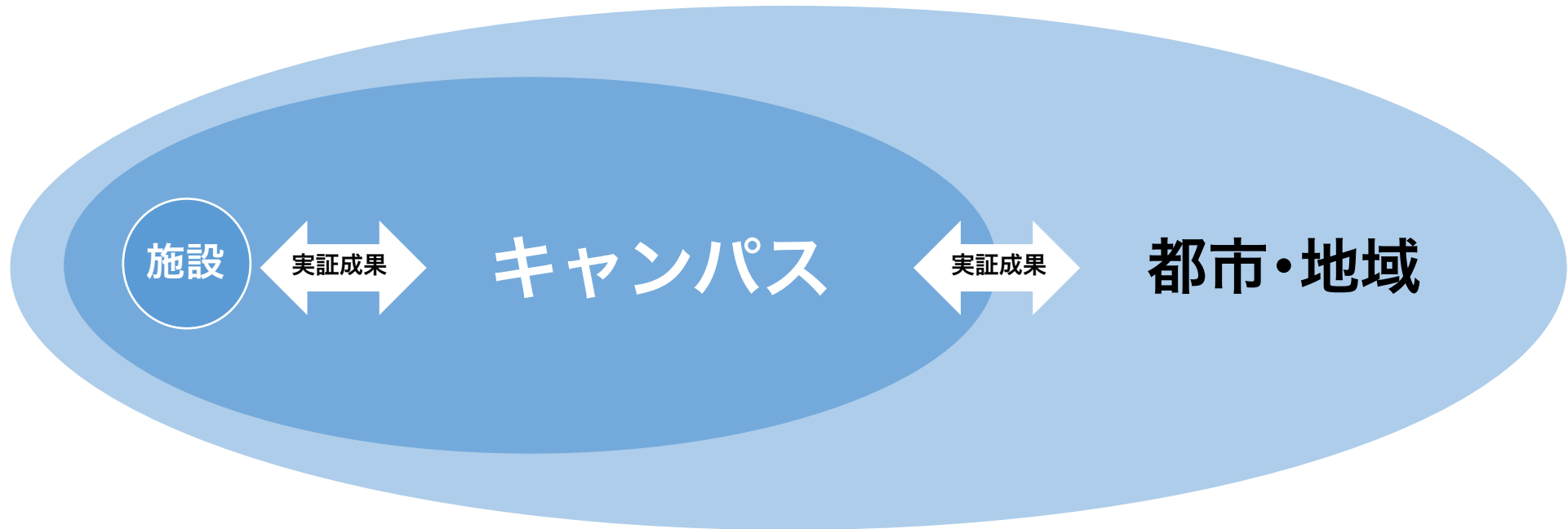
※今後の墨田区長メッセージ等で発信予定。



キャンパスは生きた実験室（リビングラボ）

キャンパスを活用した教育研究の実践と地域再生への貢献

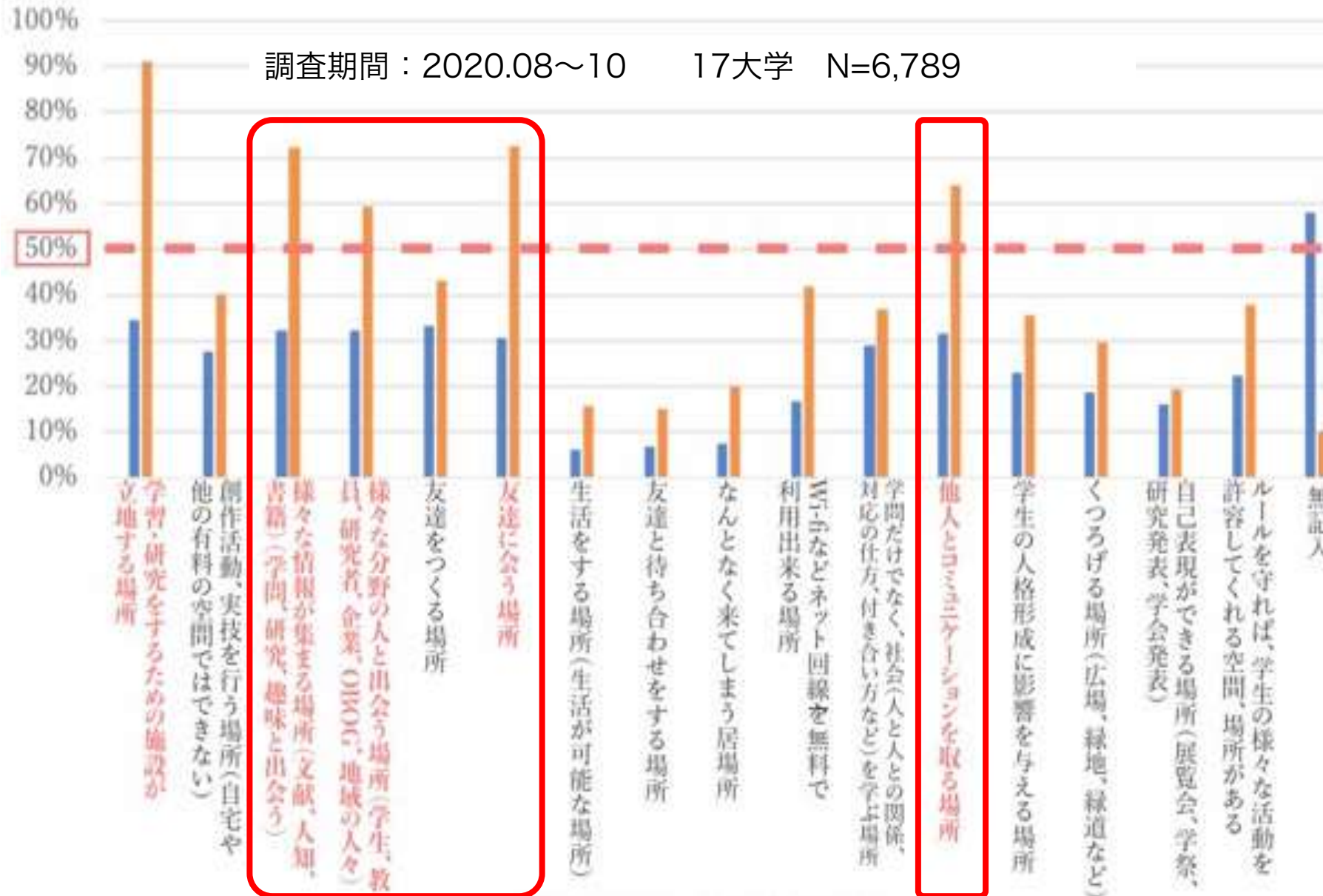
まちのように**キャンパス**をつくり、キャンパスのように**まち**をつかう



キャンパスのように**まち**をつくり、まちのように**キャンパス**をつかう

リアルなキャンパスの意義（日本建築学会アンケート調査）

多様な人々の交流、コミュニケーションを通じた学びや、多様な経験が生まれる



1年生の回答：**3割以下**
⇒通学できずよくわからない

2年生以上：学習・研究：**9割**
⇒基本的な意義

情報が集まる 友達に会う
場所：**7割**
⇒自身の視野を広げる場



● 多分野や他者との
関わりを求める

公民学連携による地域イノベーション拠点の形成

連携の仕組み

公共・民間・大学が連携したまちづくり組織
リビングラボ、自治体SDGs、Society5.0
コワーキング、企業の社会貢献（CSR）

キャンパスのようにまちをつくり、まちのようにキャンパスをつかう

地域経済の再生

テレワーク推進
起業支援・雇用創出
大学発ベンチャー
マイクロツーリズム
地産地消
6次産業化

社会機能の再生

移住・定住促進
子育て教育環境整備
中心市街地再生
町並み・景観保全
ウォーカブル都市
健康長寿

環境の保全再生

地球温暖化
生物多様性
緑地保全
再生可能エネルギー
環境マネジメント

担い手の育成

住民・学生の自立支援プログラム、企業人の社会参加
スキルアッププログラム、生涯学習、コミュニティカレッジ

